

テュートリアル課題 大きくなるらない赤ちゃん

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-01-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00031818

2012年度 Block. 6

課 題 No.3

課題名：大きくならない赤ちゃん

課題作成者：小児科学

坂内優子



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

さやかちゃんは、鈴木家に生まれた初めての女の子で、もうすぐ生後7か月になります。4歳になるお兄ちゃんがありますが、とてもやんちゃでどこに出かけるにもひと時も目が離せません。お父さんは会社員で、毎日とても仕事が忙しくほとんど家にいないので、お母さんは一人で2人のこどものお世話をするのが大変で、最近によく『もう疲れた、疲れたわ、、、。』という言葉が漏らすようになりました。

シート2

ある週末、お父さんが久しぶりのお休みだったので、家族4人でお母さんの実家のおばあちゃんの家遊びに行くことになりました。お母さんは、さやかちゃんを里帰り分娩で生みましたが、早産で緊急帝王切開だったためにお母さんの体調も悪く、さやかちゃんが生後5か月になるまでの間は実家で過ごし、お兄ちゃんとさやかちゃんのお世話はおばあちゃんが手伝ってくれました。2か月ぶりの再会をおばあちゃんはとても喜んでくれましたが、さやかちゃんを抱いた時に首が不安定でぐらぐらし、体がとても軽いことに気が付きました。そして、あんなにかわいく笑っていたさやかちゃんが、あやしても笑ってくれないので心配になりました。

シート3

おばあちゃんが、『さやかちゃん、この前と比べてあまり大きくなっていないけど、離乳食には何を食べさせているの?』と聞いたところ、お母さんは『離乳食がうまく進まなくて、何をあげても食べてくれないから仕方なくミルクだけにしてるけど、大丈夫だから口出ししないで!』と、少し不機嫌になりました。そんなお母さんのことが心配になり、おばあちゃんがこっそりお父さんに普段の様子を尋ねましたが、お父さんは『このところ毎日午前様で、子供たちの顔を見ていなくて、。お風呂を入れるのは僕の役目でしたが、そういえばこの1か月くらいはお風呂に入れていないなあ。。たぶん、妻が入れてると思います。妻は、疲れた疲れたと言っていますが、ゆっくり話も聞いてあげられないんです。』と、罰が悪そうに答えただけでした。

シート4

母子健康手帳を見てみると、1ヶ月健診で3520g、4ヶ月健診で5880gとの記載がありましたが、そのあとのページは真っ白で何も書かれていませんでした。予防接種のページにも、4ヶ月健診のときに受けたBCG接種以外には、まだ何も受けた記録が残っていませんでした。お父さんが久しぶりにさやかちゃんを抱いたとき、高い高いをしてあげようと思いましたが首が不安定で体もだらりと力が入らず、目を合わせようとしてもこっちを見てくれないのでこれはおかしいと気づきました。お母さんは拒みましたが、お父さんとおばあちゃんが付き添って小児科の休日救急病院に連れて行くことにしました。

シート5

当直の若い先生がさやかちゃんを診察し、体重を測ってくれましたが5720gしかありませんでした。先生は母子手帳を確認して4ヶ月健診の時より体重が減っていることに気付くと、この間に何か大きな病気をしなかったか、嘔吐下痢や肺炎などにかからなかったか、などと尋ねました。また、ミルクを1日どのくらい飲んでいて、離乳食は何回与えているのかなど、次から次へと質問をしてくるので、お母さんは『この子はどこも悪くないのに、尋問を受けているようで不愉快だ。』と、さやかちゃんを置いて怒って自宅に帰ってしまいました。

連絡をうけた年配の小児科の先生が残されたおばあちゃん達から話を聞くことになり、さやかちゃんが5か月以後ほとんどお母さんが一人で育児をしていて疲れきっていること、離乳食を食べてくれないのでミルクだけにしていること、予防接種を受けていないことなどを伝えました。

シート6

年配の先生から、『生後7か月のこどもが3か月前から体重がまったく増えず、むしろ減っているのは非常に深刻な状態です。体重が増えない原因を調べなければなりません。お話を伺ったところ与えるミルクの量が少なく、足りていないと考えられます。また、さやかちゃんの肌はとても汚れて湿疹も多く、お風呂もきちんと入れてあげていないのではないのでしょうか？お母さんはとても疲れている様子で、今のお母さんの状態もとても心配です。さやかちゃんが大きくならないのは、ネグレクトによるものではないかと疑っています。』という話がありました。最近、テレビのニュースなどで聞く言葉で、虐待の一種だという説明もあり、祖母と父はとてもショックでしたが、自分たちは母のサポートをしてあげることができないため、児童相談所に依頼をしてサポートを受けることになりました。